

議員（小川 保）

失礼します。9番 小川 保です。

本日は、今後の町財政の取組は、について一問一答方式にて質問を致します。

我が国経済は、新型コロナウイルス感染症対策として要請した自粛等の影響や個人消費を中心とした大幅な需要の減少及びより強制力のある感染症対策を実施した諸外国との輸出入が大幅に減少したことにより、これまでにない厳しい状況に陥りました。

また、最近は一変異株オミクロン株の発生拡大が懸念されており、このような不安定な状況の中、住民の暮らしを担う地方行政は健全な財政を維持する経営の能力が必要とされております。

地方公共団体の財政状況を統一的な指標で明らかにし、財政の健全化や再生が必要な場合に迅速な対応を取るため、地方公共団体の財政の健全化に関する法律は平成19年6月22日に交付され、平成19年の決算に基づく健全化判断比率から公表されております。

先の9月定例会の総務教育常任委員会の諸般の報告において本町の状況が報告され、令和2年度決算における将来負担比率が149.4%、実質公債費比率が11.5%との報告がありました。

ここで質問です。

- 1、この数値は何を表すものか。
- 2、早期健全化基準は、財政運営においてどんな不都合が出るのか。
- 3、令和2年度は全国1,741市区町村の中でどの位置にいるのか。
- 4、新庁舎及び駅周辺整備の終了後は、どのような数値、位置になるのか。当然予想されていることでしょうか。詳細にお示し下さい。

総務課長（泉 知典）

小川議員の1点目の将来負担比率及び実質公債費比率の数値は何を表すものかのご質問に答弁をさせていただきます。

将来負担比率とは、一般会計が将来負担すべき債務の標準財政規模に占める割合を示す指標であり、町債残高の増加や基金の減少等により上昇します。

標準財政規模とは、経常的な一般財源の規模のことで、例えば将来負担比率が200%とは経常的な一般財源の規模に対し2倍の負債があるということになります。

また、実質公債費比率とは、一般会計が負担する実質的な公債費の標準財政規模に占める割合を示す指標であり、公債費の増加等により上昇します。

続きまして、2点目の早期健全化基準は財政運営においてどんな不都合が出るのかのご質問に答弁をさせていただきます。

実質公債費比率及び将来負担比率など健全化指標につきましては、早期健全化基準と財政再生基準が設けられており。これらの基準により財政悪化をチェックし、早い段階で対応するようになっております。早期健全化基準を超えて早期健全化団体になり

ますと財政健全化計画を策定し、その計画に基づき自治体自身の努力で財政の健全化を図っていくこととなります。

さらに、将来負担比率を除く健全化指標については、財政再生基準が設けてあり、その基準を超えると財政再生計画を策定し、財政運営が計画に適合しないと認められる場合においては予算の変更等を勧告されるなど、国の関与を受けつつ財政の再生を図っていくこととなります。

続きまして、3点目の令和2年度の全国順位についてのご質問に答弁をさせていただきます。

令和2年度の実質公債費比率は、全国1,741市区町村中1,509位、将来負担比率は全国1,721位でございます。

以上、3番目までの答弁とさせていただきます。

町長（丸尾 幸雄）

小川議員の新庁舎及び駅周辺整備の終了後の数値、全国順位についてのご質問に答弁をさせていただきます。

実質公債費比率は、白方小学校改築や緊急避難路新設など、過去に行った普通建設事業に係る町債について、据置期間の終了により順次元金償還が始まるため比率の上昇は続き、令和3年度には12%、令和7年度には13%近くまで上昇する見込みでございます。この数値を令和2年度の全国順位で見ますと1,650位前後ですが、年々全国平均が減少していることを鑑みますと、さらに順位は低くなると思われま

す。また、庁舎及び地域交流センター建設事業に係る工事費等の大部分を町債により賄うこととしておりますので、その他普通建設事業に係る町債を含めると、令和3年度町債残高は地方交付税措置も含めて30億円ほど増加する見込みでございます。

また、令和3年度は、新庁舎の備品購入など物件費の一時的な増加や会計年度任用職員制度開始による人件費の経常的な増加などにより一般財源不足が生じ、財政調整基金の取崩しにより補填することになるため、財政調整基金残高は大きく減少することが見込まれております。このため、令和3年度、4年度の将来負担比率は195%を超える見込みとなっており、他市町の状況等にもよりますが、全国順位もワースト10位以内になると思われま

す。どちらの比率も早期健全化基準を超えない状況で推移する見込みとはいえ、令和3年度以降数年間は全国的に見ましても非常に低い順位となると思われま

すので、今後も起債の抑制に努め、実質公債費比率や将来負担比率の推移に細心の注意を払いながら、健全な財政運営を維持できるよう努めてまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（小川 保）

ご苦労さまです。令和2年度の実質公債費比率は、全国1,741市区町村中1,509位、つまりワースト233位、そして将来負担比率は全国1,721位、つまりワースト21位とい

うことで、かなり悪い状況に陥るといふご回答を頂きました。

改めて質問致します。

令和3年8月25日付で町監査委員より提出された、令和2年度多度津町財政健全化判断比率に係る審査意見書の内容をお示し下さい。

総務課長（泉 知典）

小川議員の令和2年度多度津町財政健全化判断比率に係る審査意見書の内容についてのご質問に答弁をさせていただきます。

9月の総務委員会で報告された令和2年度多度津町財政健全化判断比率に係る審査意見書には、全ての指標において早期健全化基準の基準内ではあるものの、2、審査の結果、(3)是正改善を要する事項として、将来負担比率については今後の新庁舎等の整備事業及び多度津駅周辺開発整備事業などの実施によって急激に悪化されることが予想されるので、それらの事業が実施されても早期健全化基準を超えないように厳正にチェックしながら事務事業の見直しや効率化を図って、必要経費を抑制するなど経常収支比率の改善に努めて、継続的に財政調整基金への積立てが可能になるように、出来るだけ支出を抑制する財政運営が必要になっているとの意見を頂きました。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（小川 保）

続けて質問させていただきます。

1、町監査委員からの意見にもあったように事務事業の見直し、必要経費の抑制並びに継続的な財政調整基金への積立てをどのように確保するのか。

2、令和4年度の予算編成において、町監査委員からの意見がどのように反映されているのか、お願いします。

総務課長（泉 知典）

小川議員の監査委員からの意見をどのように反映するかについてのご質問に答弁をさせていただきます。

現在の状況として、超大型普通建設事業が施工中であることに加え、人件費や公債費の増額など歳出が大きく増加しており、歳出超過の状況を財政調整基金からの取崩しにより補填する状況が続いております。このような状況の中、財政調整基金の積立てを行うには、まず歳出超過が続く現状を毎年度の収支が均衡する健全な状態に戻していく必要があります。

歳出につきましては、新規事業を各課から予算要求する際、総事業費や近隣市町の状況、削減出来る経費等を記載した予算要求シートの提出を求め、財政への影響度を見極めた上で優先順位をつけ、より慎重に実施するとともに既存事業の縮小、統合等も含めた抜本的な見直しを行うなどして抑制に努めてまいります。

また、歳入におきましても、引き続き起債や国、県などの補助制度を最大限活用するとともに、ふるさと納税の推進等も含め、新たな財源の確保を検討するなど中・長期

の収支バランスについての展望を持ちながら、歳入歳出両面での見直しや改善に取り組んでまいります。

続きまして、2点目の監査委員からの意見を令和4年度予算編成にどのように反映するのかについてのご質問に答弁をさせていただきます。

令和4年度の予算編成方針において、このかつてない厳しい財政状況下においては、全ての事業の継続実施は不可能であり、安易な前例踏襲をすることなく、全事業を点検し、事業の廃止、縮小、統合といった厳しい視点で歳出を抑制するとともに積極的に歳入を確保し収支不足の解消に向けて取り組むことを念頭に置いて予算編成に努めてもらいたいとして、歳入に見合う予算編成や予算見積りの明確化、経費の徹底した節減等を求めています。

現在、各課の予算要求に基づき予算査定を行っているところではありますが、歳出の抑制と歳入の最大限の確保により、出来る限り財政調整基金からの繰入れを最小限に出来るよう、より厳しい視点で予算を調製してまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（小川 保）

これら令和4年度予算の財源を確保するために、既に計画は始まっているものの、多くの継続的な経費を必要とする事業の廃止を検討するなど、出血を伴う大ナタを振るうことも必要だと思いますが、いかがお考えでしょうか。

総務課長（泉 知典）

小川議員の令和4年度予算を確保するため、多くの継続的な経費を必要とする事業の廃止検討なども必要だがどう考えるかについてのご質問に答弁をさせていただきます。

現在、本町の財政状況は非常に厳しい状況にあり、さらに令和4年度には新庁舎への移転に係る一時的な歳出の増加が見込まれるため、財源不足が生じると想定されます。このような厳しい状況の中、新規事業の抑制だけでなく、議員ご指摘のとおり既存事業の見直しも同時に行うことで、歳出のさらなる縮減を進めていかなければならないと考えております。

先ほどの答弁にもありましたとおり、新規事業及び既存事業の増額につきましては、予算要求シートの提出により既存事業の見直しによる財源確保を検討した上で予算要求をお願いしております。

また、歳出要求の際には、既存事業について全ての事業に対し、廃止、縮小、統合も含め、抜本的な経費の見直しを図るよう求めています。このように要求された各課からの予算に対しまして、緊急性や安全性、実施効果、住民の方への影響や過去の事業実績等により、既存事業の見直しも行いながら、十分な検討や協議の上、予算を調製してまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（小川 保）

全国的に見ても道路、橋、施設など、公共施設の老朽化は著しく、修繕、改築等、維持管理を適切にしていだけでも厳しいという状況の中、近い将来の人口減少を見据えた上での公共施設並びに組織の整理、統廃合は喫緊の課題であり、そうした視点で厳しい改革を進めていっていること、このことは総論賛成、各論反対の意見噴出の中、政治的には厳しい選択であろうかと推察致しております。それでも選択と集中をやらなければ、自治体は破綻するという現実選択であります。

私は、まちづくりやまちおこし等、町の活性化については大いに実施するべきであると考えております。しかし、このような事業を実施していくためには、毎年多くの継続費やイニシャルコスト等が必要となってきます。事業を開始する際の財源については、国、県の補助金や交付金、また地方債を活用するのではないかと推察致しておりますが、一方ではこれから本町が取り組まなければならない老朽化した公有財産の対策や幼稚園、小学校の統廃合などを考えなければなりません。

ここで、質問です。

各課において、様々な事業に助成金等を支出しております。その事業詳細をお示し頂きたいのですが、その詳細についてのご答弁について、一つ提案がございます。別添えの資料で私の手元に頂いております補助金等の事業は、総数で154件記載されております。これを全て説明頂くと読み上げるだけでも到底時間内には収まりません。

そこで、提案です。各課の対象事業名は全件読み上げ、その後、令和3年度の予算のうち大きい順で5件までの事業名と、その令和3年度の予算と令和2年度の決算額を読み上げて下さい。

また、後日の委員会にて、この資料を議員全員に配布致して、お願いしたいと思えます。

町長公室長（山内 剛）

小川議員の各課においての助成金等についてのご質問に答弁をさせていただきます。

最初に、令和元年度から令和3年度の間に出費がある対象事業名を読み上げ、令和3年度の予算が大きい5つの事業につきまして、令和3年度の予算額と令和2年度の決算額を申し上げます。

まず、町長公室でございます。

対象事業は1件で、自治会連合会補助金、令和3年度予算額が75万円、令和2年度決算額が75万円。

以上でございます。

政策観光課長（河田 数明）

次に、政策観光課でございます。

まず、当課の所管しております助成金等事業の名称を述べさせていただきます。

離島航路補助金、移住・定住促進事業補助、この中には4件の補助事業がございます。次に、多度津駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金、多度津町タウンプロモ

ーション事業推進プロジェクト補助金、結婚新生活支援事業補助金、コミュニティー事業助成金、東京圏U J I ターン移住支援事業補助金、結婚支援事業補助金、多高100年プロジェクト補助金、多度津町島嶼部航路運賃助成金、離島救急患者輸送費補助金、緊急学生支援給付金、多度津町観光協会補助金、観光振興事業等補助金、にぎわい振興補助金、北前船日本遺産登録記念事業補助金、緊急宿泊事業者支援給付金、以上14事業でございます。

次に、令和3年度当初予算の予算額の大きい5事業及びその事業の令和3年度の当初予算、また令和2年度決算額を令和3年度当初予算の多い順に述べさせていただきます。

離島航路補助金、令和3年度当初予算額2,099万円、令和2年度決算額1,745万7,906円。多度津町観光協会補助金、令和3年度当初予算額1,384万円、令和2年度決算額400万円。移住・定住促進事業補助、令和3年度当初予算額1,190万円、令和2年度決算額742万5,000円。多度津駅バリアフリー化設備等整備事業費補助金、令和3年度当初予算額670万円、令和2年度決算額、実績はございません。多度津町タウンプロモーション事業推進プロジェクト補助金、令和3年度当初予算額500万円、令和2年度決算額341万8,333円でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

税務課長（西山 政有紀）

次に、税務課でございます。

対象事業は3件で、まず、町たばこ組合補助金が令和3年度予算額18万円、令和2年度決算額18万円です。次に、軽自動車税環境性能割徴収取扱費交付金が令和3年度予算額9万円、令和2年度決算額4万3,770円です。次に、青色申告会補助金が令和3年度予算額4万円、令和2年度決算額4万円です。

以上でございます。

住民環境課長（石井 克典）

次に、住民環境課でございます。

対象事業につきましては9事業でございます。

通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金、丸亀人権擁護委員協議会丸亀地区部会補助金、犬及び猫の不妊・去勢手術費助成金、地域環境整備支援事業補助金、地域管理共同墓地整備補助事業、住宅用太陽光発電システム設置補助金、多度津町地域猫活動支援事業補助金、浄化槽管理補助金、コンポスト助成金でございます。

このうち、令和3年度予算額の多い5件につきまして、ご報告をさせていただきます。

まず、通知カード・個人番号カード関連事務委任交付金、令和3年度予算額が845万9,000円、令和2年度決算額が1,004万8,000円でございます。次に、住宅用太陽光発電システム設置補助金、令和3年度予算額が280万円、令和2年度決算額が210万円でございます。次に、多度津町地域猫活動支援事業補助金、令和3年度予算額が189万円、令和2年度決算額が142万5,314円。次に、犬及び猫の不妊・去勢手術費助成金、令和

3年度予算額が45万円、令和2年度決算額が42万円でございます。最後に、コンポスト助成金、令和3年度予算額が13万円、令和2年度決算額が13万8,651円となっております。

以上でございます。

高齢者保険課長（松浦 久美子）

次に、高齢者保険課でございます。

対象事業は3件で、高齢者労働力活用事業補助金、令和3年度予算額2,076万4,000円、令和2年度決算額2,076万4,000円。老人クラブ活動補助金、令和3年度予算額117万6,000円、令和2年度決算額117万6,000円。介護保険サービスに係る利用者負担減額措置事業補助金、令和3年度予算額7万円、令和2年度におきましては実績はございません。

以上でございます。

健康福祉課長（冨木田 笑子）

次に、健康福祉課でございます。

次の、23の補助金等がございます。

地域福祉医療団体助成金、法人後見事業費補助金、遺族会補助金、障害者住宅改造促進事業補助金、身体障害者の会補助金、中讃聴覚障害者協会補助金、子ども・子育て支援事業補助金、保育所等整備補助金、施設運営費補助金、社会福祉法人事業補助金、保育体制強化事業費補助金、保育士確保対策補助金、副食費補助金、保育対策総合支援事業補助金、保育士就職一時金、子育て世帯への臨時特別給付金、新型コロナ対策子育て支援給付金、子育て世帯生活支援特別給付金、地域活動連絡協議会補助金、骨髄等移植ドナー支援事業助成金、新型コロナ対策出産育児応援特例給付金、新型コロナウイルスワクチン接種事業医療機関協力金、医療機関等新型コロナウイルス感染症対策慰労金でございます。

このうち、予算の大きいものは、順に、子ども・子育て支援事業補助金、令和3年度予算額3,941万7,000円、令和2年度決算は3,878万6,869円。次に、保育所等整備補助金、令和3年度予算額2,852万1,000円。こちらの事業は今年度開始の事業のため、令和2年度実績はございません。子育て世帯生活支援特別給付金、令和3年度予算額1,900万円。こちらはコロナ関連の臨時給付のため、令和2年度決算は0円でございます。施設運営費補助金、令和3年度予算額578万円、令和2年度決算585万7,000円。新型コロナウイルスワクチン接種事業医療機関協力金、令和3年度予算額530万円、こちらもコロナ関連の臨時給付のため令和2年度決算は0円でございます。

以上でございます。

建設課長（三谷 勝則）

次に、建設課でございます。

対象事業は5件で、多度津町老朽危険空き家除去事業補助金、令和3年予算額1,600万

円、令和2年実績1,581万2,000円。浄化槽設置整備事業補助金、令和3年予算額1,489万2,000円、令和2年実績1,456万円。民間住宅耐震対策支援事業補助金、令和3年予算額1,250万円、令和2年実績180万円。がけ地近接等危険住宅移転事業費補助金、令和3年予算額518万5,000円、令和2年実績はございません。民間危険ブロック塀撤去支援事業費補助金、令和3年予算額は事業が終わっておりますので、ありません。令和2年実績、230万4,000円。

以上でございます。

産業課長（谷口 賢司）

続いて、産業課でございます。

産業課の対象事業は58件でございます。

対象事業は、香川園芸産地活性化基盤整備事業補助金、多面的機能支払交付金、さぬき讚フルーツ生産拡大事業費補助金、新規就農・経営継承総合支援事業費補助金、JA多度津町農業振興会補助金、オリーブ生産拡大推進事業費補助金、農地集積補助金、有害鳥獣侵入防止柵等設置事業補助金、中山間地域等直接支払交付金、多度津町地域農業再生協議会補助金、経営転換協力金、農業経営力向上支援事業補助金、みんなで守る地域農業支援事業費補助金、物産展等出展支援補助金、農業近代化資金利子補給補助金、生活研究グループ連絡協議会補助金、農地適正管理費補助金、農業共済組合補助金、農業機械銀行運営補助金、狩猟免許申請手数料等補助金、農業経営基盤強化資金利子助成金、多度津町土地改良区運営補助金、多度津町土地改良区単県事業補助金、土地改良事業費借入れ償還金、多度津町土地改良区町単独事業補助金、水産振興事業補助金、漁場・海面・海浜清掃事業補助金、内水面環境整備事業補助金、多度津地区淡水魚養殖組合補助金、漁場環境保全事業補助金、漁業近代化資金利子補給補助金、淡水魚養殖等事業補助金、地域を支える集落営農推進強化事業補助金、グリーンツーリズム推進事業費補助金、新規就農者サポート事業補助金、かがわの水田農業競争力強化対策事業費補助金、みんなの6次化応援事業費補助金、多度津消費者友の会補助金、多度津町企業立地促進助成金、多度津町創業支援補助金、多度津商工会議所運営補助金、多度津町産農水産物を活用した商品開発事業補助金、産業振興支援補助金、多度津商業協同組合補助金、チャレンジショップ補助金、町融資制度利子補給金、コロナ対策長期資金利子補給金助成金、中小企業融資保証料補給金、事業者持続化支援金、感染症対策補助金、農漁業者所得安定対策補助金、営業時間短縮協力金、プレミアム付商品券発行助成金、休業要請等協力金、セーフティーネット保証等活用助成金、新型コロナウイルス感染症対応商業協同組合助成金、町農水産物を活用した新商品開発事業補助金、農業漁業者持続化支援事業給付金、計58本でございます。

令和3年度の予算の大きい順に5つ報告致します。

まず、一番大きいのがプレミアム付商品券発行助成金、令和3年度予算が5,602万円で



ございます。令和2年度実績が4,300万円でございます。こちらは、新型コロナウイルス感染症対応の交付金事業でございます。2番目が多度津町企業立地促進助成金でございます。令和3年度予算額が4,270万円、令和2年度実績が4,912万2,000円でございます。3番目が、こちらコロナ関係の交付金事業でございますが、事業者持続化支援金、令和3年度予算額が3,500万円でございます。令和2年度は実施しておりませんのでゼロでございます。続きまして、4番目です。こちら新型コロナウイルスの交付金関連事業です。営業時間短縮協力金、令和3年度予算額が1,700万円、令和2年度は実施しておりませんのでゼロでございます。最後に、5番目でございます。多面的機能支払交付金、令和3年度の予算額が1,557万円、令和2年度実績が1,493万3,956円でございます。

以上でございます。

消防長（阿河 弘次）

次に、消防本部でございます。

対象事業は2件で、分団交付金、令和3年度予算額42万5,000円、令和2年度におきましては実績はございません。これは、コロナ禍により事業を中止したためでございます。水難救済会補助金、令和3年度予算額10万5,000円、令和2年度の決算額は10万5,000円でございます。

以上でございます。

教育課長（竹田 光芳）

次に、教育課でございます。

対象事業は20件でございます。

奨学金、各種競技審査会参加補助金、進路指導対策補助金、修学旅行等延期及び中止に係る経費補助、副食費補助金、緊急保全対策事業費補助金、文化財保存会補助金、婦人連絡協議会補助金、子供会育成連絡協議会補助金、町内幼・小・中学校人権同和教育研究会補助金、各種保存会補助金、PTA連絡協議会補助金、木彫研究会補助金、ボーイ・ガールスカウト育成会補助金、自治公民館整備事業補助金、町青少年健全育成町民会議補助金、成人式レンタル衣装キャンセル料、多度津町スポーツ少年団補助金、体育協会補助金、学校給食安定供給支援事業補助金、以上20件でございます。

令和3年度の予算が大きい5件について、本年度補正予算及び繰越し事業も含めて報告させていただきます。

まず1点目、奨学金、令和3年度予算額118万8,000円、令和2年度実績83万1,600円。続いて、各種競技審査会参加補助金、令和3年度予算額80万円、令和2年度決算額5万6,208円。緊急保全対策事業費補助金、補正予算がございました。合計500万円。令和2年実績126万4,000円。文化財保存会補助金100万円、令和2年実績100万円でございます。最後に、成人式レンタル衣装キャンセル料繰越し事業でございます。予算額

800万円、令和2年度実績は0円でございます。

以上でございます。

総務課長（泉 知典）

最後に、総務課でございます。

土地開発公社補助金、防犯灯設置補助金、丸亀・善通寺・多度津地区防犯協会補助金、離島栈橋補助金、防犯カメラ設置補助金、原爆被害者の会丸亀支部運営補助金、公共交通運行特別支援金、交通安全を守る会等補助金、交通安全対策協議会補助金、高齢者交通安全協議会補助金、特別定額給付金、防災士育成支援事業補助金、家具類転倒防止対策促進事業補助金、以上の13件でございます。

このうち、令和3年度の予算が大きかったもの順で、1番が土地開発公社補助金、令和3年度予算額が384万2,000円、令和2年度実績で361万9,628円。2番目が防犯灯設置補助金、令和3年度予算が100万円、令和2年度実績で86万2,000円。3番目が丸亀・善通寺・多度津地区防犯協会補助金で令和3年度予算額が99万円、令和2年度実績は80万8,000円。4番目が離島栈橋補助金で令和3年度予算額が84万円、令和2年度実績が84万円。5番目が防犯カメラ設置補助金で令和3年度予算額が50万円、令和2年度実績が29万6,000円でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（小川 保）

大変ご苦労さまでございました。

今のご答弁頂いた各事業は、見直しをしつつも必要と判断されての決定でありましょう。本来であるならば、年度年度で区切りをつけて全てゼロベース、すなわち御破算とした上で、改めて1円から積んでいくことが肝要だと呈しておきます。

最後、私からお話ですが、言い古された言葉ですが、中国の礼記に、入るを量りて出ざるをなすという言葉があります。上杉鷹山翁は、これに従って藩財政の立て直しに当たり、総収支勘定を明らかにする情報公開を行い、藩全体で徹底した整理と殖産を行いました。来年度以降の予算編成においては、ぜひ礼記のこの言葉を思い出して下さい。ちなみに米沢藩を立て直した根本精神、自助・共助・公助、この三助も実は上杉鷹山翁の治世の方法として知られております。

先ほど発表、報告頂いた助成金関係、これの明細を委員会の時に、ぜひ議員全員にお配り願ったらと思います。

それから、私の手元に頂いておった資料、数字が一部違っておりますので、それも整合して頂いた上でお願いをしたいと思います。

以上で、9番 小川 保の質問を終わります。有難うございます。

総務課長（泉 知典）

失礼します。先ほど私が小川議員の答弁した中で、一部間違いがございましたので、ここで訂正させていただきます。

質問2番目の町監査委員より提出された令和2年度多度津町財政健全化判断比率に係る審査意見書の内容というお問合せのところで、私は9月の「総務委員会」で報告されたと申し上げましたが、これは間違っておりました。申し訳ありません。9月の「本会議」で報告されております。訂正させて頂きたいと思っております。誠に申し訳ありませんでした。

以上でございます。